令和4年度　まちづくりびと講座（全連続4回）レポート

まちがいぃ メガネで まちを見てみよう

第一回
「虫の目鳥の目」で
小ネタを探そう！

日時：10月1日
時間：10時30分
-16時00分
参加者：10名

ご存知でしたか？　10月1日は、メガネの日！

そんな素敵な偶然にも恵まれて、今年も始まりました「びと講座」。どんな受講生が来てくれるか、どんな雰囲気で進むか。講師・スタッフ陣も、毎年ドキドキで迎える第一回目。この「メガネ」に惹かれて申し込んでくれた皆さんですから、きっと楽しくなるに違いない？！ですよね。

はじめに

熱田（等）のイメージアンケート

受講者番号（　　）お名前（　　）

各設問の、あてはまる数字に○をつけてください。

お住まいはどちらですか　　熱田　・　それ意外

1　熱田のことをどれくらい知っていますか

とても よく 知っている ←→ 全く 知らない

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

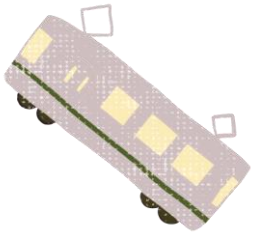
2　熱田に愛着を感じますか

とても 感じる ←→ 全く 感じない

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

最初に皆さんにアンケートをとりました。小ネタ探しをすることにより、まちの見方が変わってくるか。連続講座が終わる頃には、どんな変化が見られるでしょうか。

▲お好きなメガネを選んでいただきます



まちがいぃ メガネで まちを見てみよう

第一回目　タイムスケジュール

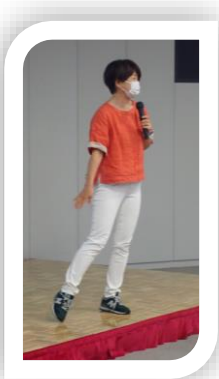
10:30	開会・オリエンテーション
10:40	わたしの「趣向」自己紹介
10:55	この講座の趣旨/小ネタについて
11:10	講義①　虫の目鳥の目
11:30	まちあるきについて※グループ決め、写真撮影等
11:45頃～	**まちあるき（お昼休み含む）**
14:30	グループワーク①（15分）
14:50	講義②小ネタを使ってまちの魅力を伝えてみませんか
15:13	グループワーク②（20分）
15:33	本日のシェア（全体で）
15:47	宿題について
15:50	講師から　次回へのヒント
16:00	事務連絡、終了

アイスブレイク
本日のお題

この講座では、毎回最初に、「わたしの趣向」をお話してもらいます。あらためて聞かれると、何だろう・・・？と、自分の好きなものと向き合ってみると、あらためて、自分のことが見えてくる？！

「てぬぐい」「鉄道の模型」「ディズニーグッズ」・・・意外な方が、「くまのぬいぐるみ」なんて！ユニークで楽しい、皆さんの一面が見えました。実はこのアイスブレイクは、「小ネタ」探しと繋がっていますいます。

まちが いぃ メガネって？



「熱田には、赤い蒲鉾があるんだよ」と早速小ネタを披露▲
なんと、今日のファッションはそれをイメージしたものだそう

ここからは、ナビゲーターの井村美里さんに進行をバトンタッチ。この講座のタイトルもつけてくれた井村さん。「間違い」じゃないよ、「まちが、いい」だよ。このメガネをかけることにより、普段見えていなかったまちの魅力が見えるんだよ、そんな、講座のコンセプトをお話いただきました。

「KNT理論」
について

KNT理論。それは、東京大学社会科学研究所の、玄田先生と中村先生が唱えておられる理論。大ネタは派手なストーリーや結果が求められるが、「小ネタは、誰でも、どこでも、いつでも」作ろうと思えば作れる。その主体は、行政ではなく、あくまで個々の市民である。

まさに、まちづくりに欠かせないものだと思わせてくれる理論です！

▲KNT理論。「小ネタ」をこんなふうに言うと、かっこいいですね！

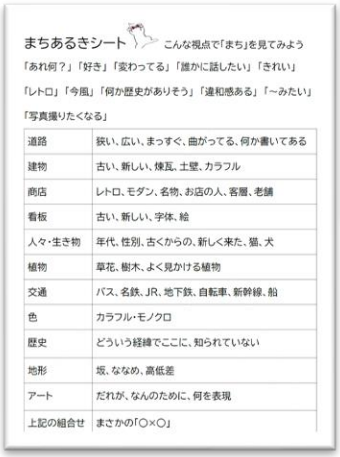
虫の目鳥の目で
小ネタを探そう

まちづくりとは？という話から入り、まちを見る視点には「虫の目」「鳥の目」があること、そして小ネタを探すには近所を観察して歩く「虫の目」が大切だということを、お話してもらいました。

まち歩きへ出発！

いよいよまち歩き。最初はグループで、その後分かれて歩きます。雨も心配されましたが、一転快晴、10月だというのに真夏日に。皆さん、水分補給を忘れず、まちがいいメガネで「KNT」探してきてくださいね！

こんなところに気をつけて見てみよう▼



まちあるきシート　こんな視点で「まち」を見てみよう

「あれ何？」「好き」「変わってる」「誰かに話したい」「きれい」

「レトロ」「今風」「何か歴史がありそう」「違和感ある」「～みたい」

「写真撮りたくなる」

道路	狭い、広い、まっすぐ、曲がってる、何か書いてある
建物	古い、新しい、煉瓦、土壁、カラフル
商店	レトロ、モダン、名物、お店の人、客層、老舗
看板	古い、新しい、字体、絵
人々・生き物	年代、性別、古くからの、新しく来た、猫、犬
植物	草花、樹木、よく見かける植物
交通	バス、名鉄、JR、地下鉄、自転車、新幹線、船
色	カラフル・モノクロ
歴史	どういう経緯でここに、知られていない
地形	坂、ななめ、高低差
アート	だれが、なんのために、何を表現
上記の組合せ	まさかの「○×○」

オープンチャットへのアップ

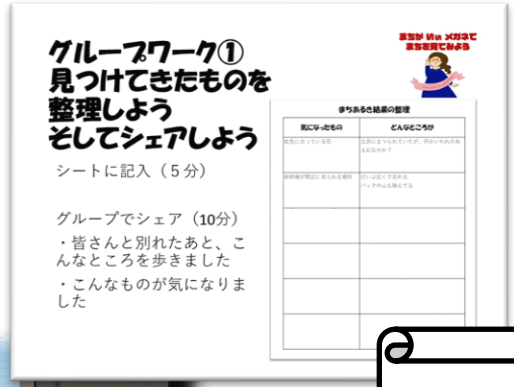
全部で100近い投稿がありました！▼

この講座では、みつけた小ネタをLINEのオープンチャットで共有します。
どんどんみなさんから、こんなの見つけたという写真が送られてきました。
小ネタ探しで新たな発見があったのでは。

おつかれさまでした！
後半の開始

後半は、見つけてきたものを書き出すワーク。
みなさん、どんなものを見つけてきたかな。
歴史的なもの、飲食店、建物の様子や、水辺の風景・・・そしてそれは、「この人ってこういうのに興味を惹かれるんだ～」という傾向が見られます。

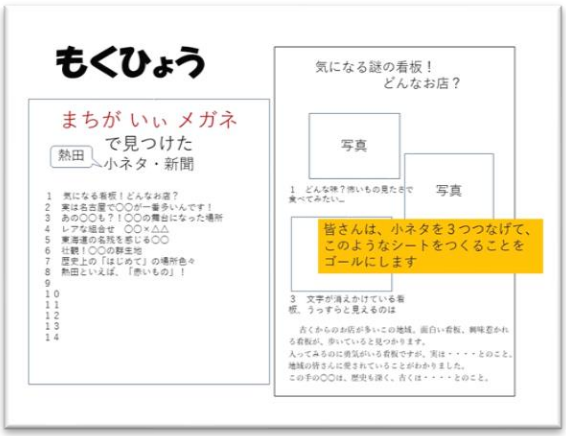
最初のアイスブレイクでの「わたしの趣向自己紹介」とオーバーラップして、あらためて「小ネタ」はその方の個性がでるんだな～と感じました。



小ネタには
その人の
「個性」が出る！

MACHIGA-II-MEGANE

もくひょう



さて、この講座は何を目指すのか？！
小ネタをみつけたら、それを発信していきたくなりますね。それが地域の魅力発信にもなります。ということで、小ネタ新聞なるものを作ってみたいと思います。

えっ？難しそう・・？！いえいえ、大丈夫。一緒にやっていきましょう。小ネタで地域を面白くするために。

小ネタを使って
まちの魅力を
伝えてみませんか

次は、筒井さんから、過去に携わったガイドマップづくりの事例を紹介しながら、「どんな小ネタをつなぎ合わせるか、切り口が大切というお話をしてもらいました。「町衆の生活・世間遺産」「暮らし、雰囲気を伝える」…などのキーワードが、小ネタだから伝えられるまちの魅力を表していると感じました。

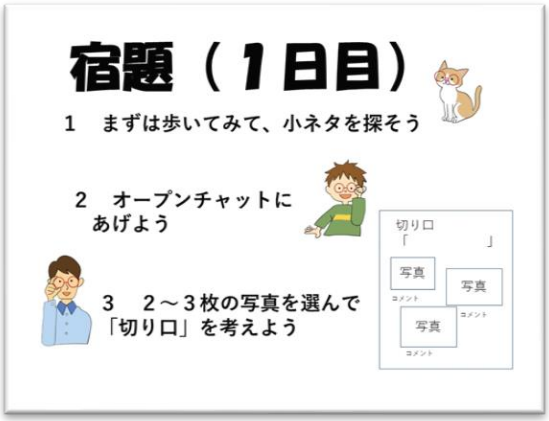
最後のシェア

最後に、自分の見つけた小ネタを、どんな切り口でつないでみるか、そして本日の感想などをひとりひとり発表。

その後講師から、切り口へのヒントをお伝えし、この日は終了です。
初日から、まちあるきを挟んで午前午後にわたるスケジュール。皆様お疲れ様でした。

磨けば磨くほど
小ネタを見る目は
磨かれる！

MACHIGA-II-MEGANE

宿題

さて、チラシではお伝えしていましたが、この連続講座は、課題が設定されることがあります。小ネタを見つける目「KNTアイ」は、どんどん磨いていくもの。一回のまちあるきでは身につきません。そこで、みなさん各自、日常的に小ネタを探し、投稿してもらいたいということ。そんなことで、宿題とさせていただいています。が、大丈夫。気楽に、楽しく、取り組んでくだされば。